

平成21年10月29日

各 位

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス
 代表者 代表取締役社長 和田 洋一
 (コード番号 9684)
 問合せ先責任者 経営企画部長 佐々木 通博
 (TEL 03-5333-1144)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,000	12,500	12,500	7,500	65.18
今回発表予想(B)	90,500	13,000	12,100	2,600	22.59
増減額(B-A)	500	500	△400	△4,900	
増減率(%)	0.6	4.0	△3.2	△65.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	67,974	9,396	9,704	6,054	52.71

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	180,000	25,000	25,000	15,000	130.35
今回発表予想(B)	180,000	25,000	25,000	10,000	86.90
増減額(B-A)	—	—	—	△5,000	
増減率(%)	—	—	—	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	135,693	12,277	11,261	6,333	55.11

修正の理由

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績は、売上高、営業利益ともに順調に推移いたしました。経常利益は、為替差損(約10億円)の発生を主な要因として、121億円となる見込みです。また、第1四半期で発生した特殊要因(買収関連費用 約8億円、APA 約11億円等)に加え、第2四半期において、連結子会社である株式会社スクウェア・エニックスおよび株式会社タイトーの転進支援措置の実施に伴う割増退職金等(約20億円)を特別損失に計上することを主要因として、四半期純利益は、26億円となる見込みになりました。

なお、平成22年3月期通期連結業績予想は、第2四半期までに発生した特殊要因を勘案し、当期純利益を150億円から100億円に修正しております。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上